

しっていますか？ シックスクール

ダイジェスト 身近な有害物質 その2

小樽 子どもの環境を考える親の会

化学物質やアレルギーに苦しむ子の親や
子どもの環境に興味のある方の会です。

連絡先 0134(25)1182 or (27)5100

e-mail sato-jin@star.odn.ne.jp

* 会報購読会員を募集しています。

毎月1回郵送します。1100円/年

～電話・メールでの相談も受付中！～



たばこ



たばこを吸うと室内に煙が吸着して有害物質が残り、その場が汚染されるという一種の受動喫煙のことを「セカンドハンドスモーク」といいます。米マサチューセッツ総合病院の小児科医らが執筆した論文では「子どもがいるなら、家庭内は完全禁煙を」と呼びかけています。04年に報告された米サンディエゴ州立大学の心理学講座の研究では、①家族の中に喫煙者がいない家庭、②母親は喫煙者だが子どもと同じ部屋では吸わない家庭、③子どもに配慮せず吸う家庭で、居間と子ども部屋のほこり、家具の表面や空気中などの全体的なニコチン濃度を比べたところ、配慮せず吸う家庭は同じ部屋で吸わない家庭の3～8倍、同じ部屋では吸わない家庭も、喫煙者がいない家庭に比べ5～7倍だったそうです。



電磁波(携帯電話)

携帯電話を使用する16歳未満の子どもは、脳腫瘍の発病率が5倍高くなる――。スウェーデン・オレブロ大学医学部のハーデル教授が危険性を発表しています。それによると「子どもの脳は発育期にあり保護する頭蓋骨もまだ薄いので電磁波への抵抗力が弱く、携帯電話を早く使いはじめれば使い始めるほど、脳腫瘍の発病率が高くなる。また20歳になる前に携帯電話を使い始めた人は、そうでない人と比べて神経腫瘍を発病する確率が1.5倍、聴覚神経腫瘍の場合は2倍に高まる」といいます。ハーデル教授は、子どもには、緊急時以外の携帯電話使用制限と、使う場合は耳に直接当てないハンズフリー・グッズの利用を勧告しています。また、家庭用のワイヤレス電話でも携帯電話と同様のリスクが得られたそうです。携帯電話基地局の鉄塔にもご注意を！

電磁波(学習用ライト)

蛍光灯の消費電力は白熱電球の5分の1以下で、寿命は約10倍と長いため、地球温暖化の原因とされる二酸化炭素(CO2)の排出削減につながると思います。



しかし、白熱灯は、使われているフィラメントの構造が電磁波を打ち消し合う構造になっていて、蛍光灯に比べて、発生する電磁波はかなり弱く、至近距離で長時間使用するケースでは、白熱灯に変えることが望ましいといわれています。つまり、頭のすぐ近くで使用する学習用ライトは、白熱灯がいいのです。電磁波問題市民研究会の測定によると、蛍光灯のインバータ式の場合は、普通の蛍光灯より強い電磁波を発生したそうです。

抗菌加工・形態記憶加工など

抗菌剤・防カビ剤は毒性物質で、悪い菌だけでなく体に必要な菌まで殺してしまうことが問題になっています。国民生活センター寄せられた相談では、これらを使用した商品で湿疹などの皮膚障害、呼吸器系障害、頭痛や不快などの症状があったといっています。天然系のヒノキチオールでかぶれた人もいたそうです。防虫防ダニ加工は、ピレスロイド系化合物により、ダニや害虫をおさえるという目的で使用されますが、表面上に一時的にいなくなっているだけ。この加工品を、布団やカーペットなどで長時間使用していると呼吸とともに吸いこみ、のどの痛みや頭痛、吐き気などの症状がでて危険です。掃除機のごみパックは、抗菌などしていない物を買きましょう。掃除しながら毒物を撒き散らすこととなります。形態安定加工は、ホルムアルデヒドが使われていて皮膚障害を起こします。

ドライクリーニング

テトラクロロエチレンという塩素系の有機溶剤や石油系溶剤などを使用。産業廃水による水質汚染の代表選手で、発ガン、流産、過敏症、化学やけどの原因に。クリーニングから戻ったら必ず袋から出して、外に干しましょう。

ドライマークの背広やズボンも純石けんなら自宅で洗えますよ。

レントゲン

検診、治療とレントゲン(X線)撮影を受ける機会は増えています。



学校での胸部X線検査はなくなりましたが、大人の職場での定期健診、各市町村で行う検診では、胸部X線検査は続いています。新潟大学教授の岡田氏によると放射線を用いた検査のせいで約3%の人がガンになっていると推測されるそうです。アメリカとカナダの共同研究では、結核を発見するためのX線検査は検討にも値しないといっています。

子どもが頭をぶつけたという「CTを撮って下さい」という親が多いそうですが、その被ばく量は驚きです。CTの性能は優れていますが、被ばく量は通常のX線検査の200～400回分に相当するそうです。

子どもに、むやみにレントゲン検査をすることなく、やむを得ない場合は、不要な部分を十分防護して検査を受けさせましょう。

アスベスト

石綿とも呼ばれる天然の鉱物で、柔らかく、燃えない、丈夫で安い。飛散すると目には見えない。防音・断熱・防火などの目的で使用されてきました。およそ3000種類の製品(子ども用自転車や自動車、給食の釜、家電製品など)に使われていますが、そのうち9割が建材です。悪性中皮腫などを発病するのは、アスベストを吸ってから約10～40年後。吸った場所や期間など分かる範囲で書きとめておいて下さい。また、アスベストは、化学物質やタバコなどとの相乗作用があります。

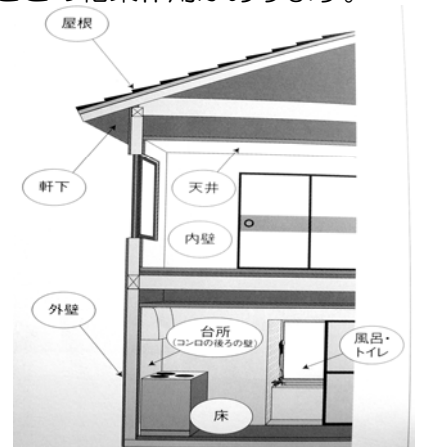
どこにアスベストが使われているのか確認し、むやみに近づかないこと。また壁などに釘を打ったり、傷をつけないことが大切です。民家の解体工事、リフォームには注意しましょう。

また、アスベストを含む製品を捨てる時も注意してください。

(アスベストとわかるように書いて捨てること)

【アスベストによる被害の多い職業】

アスベスト鉱山労働者・アスベスト製品製造工場労働者・アスベスト吹き付け労働者・大工・解体業者など建設業・港湾労働者・電気工事者造船業・自動車・鉄道車両製造業ゴム製品製造・ボイラーの運転管理整備・発電プラントなどの労働者・船の乗組員・学校職員など



資料・図解あなたのまわりのアスベスト 信陰産研

ガーデニングの農薬

両親が家庭及び職場で農薬(殺虫剤、除草剤、及び殺菌剤)を使用する家に住む子どもたちは、農薬を使用しない家に住む子どもたちに比べて2倍、脳腫瘍にかかりやすいことがわかりました。親が農薬暴露後直ちに体を洗うか防護服を着るなどの措置をしたことで、子どもの脳腫瘍のリスクは低くなったそうです。

ガーデニングなどで安易に農薬を使用しないよう、体に農薬をつけて家に入らないよう気をつけましょう。

08年には、アリ駆除剤を学校の花壇に使用したため22人もの生徒が体調を崩す事故がありました。

